

境港ライオンズクラブ会報

会長スローガン

『和を深め、笑顔で広げる奉仕の輪』



り心配しましたが、高尾委員長の普段の心がけの良さのお陰か、カニ汁販売を始めたころから天候も回復し、途中でネギや大根が不足して2回追加入手するほどの大盛況で、昨年より多くの事業資金を獲得できました。

同時に臓器・アイバンク募金も実施しました。皆様お疲れ様でした。

境港水産まつり出店

10月11日(日)、ライオンズクラブのPR、事業資金の獲得を目的として、昨年に引き続き第32回境港水産まつりに参加し、カニ汁の模擬店を出店しました。

前日の準備では女性会員：L小畑晴美、



L菅原博美と事務局員三浦さんの3人が、涙ながらの見事な包丁さばきを披露しました。

当日は早朝から準備をしましたが、朝のうち一時風雨が強くな



何事も準備が第一！

ありがとね



ワシのも入れてくれ!?

ゾーンチェアパーソン（8R - 2Z）例会訪問



10月第1例会（10月7日（水））に、松浦孝保ゾーンチェアパーソン（米子城山ライオンズクラブ）と上田裕子ファミリー・ウーマンチーム（境港美保ライオンズクラブ）が、山田實紘国際会長から指示された事項を徹底するために、我がライオンズクラブ例会を訪問されました。

松浦ZCからは、2018年に100周年を迎える国際協会の「記念奉仕チャレンジ（飢餓・青少年・視力・環境）」、「会員増強チャレンジ」及び2018年にLCIF50周年を迎えるための「基金増強キャンペーン」について、その説明と目標達成のための協力依頼がありました。



上田FWTからは、会員増強チャレンジの中の主として家族会員の増強について、その説明と協力依頼がありました。その後、各委員会報告、テール・ツイスタータイム等、最後まで例会に参加され、我がLCの明るく活発に意見を言い合える雰囲気を感じていただきました。

EM活性液プール投入実施

10月26日（月）から29日（木）にかけて、環境保全委員会は市内小中学校（10校）のプールにEM活性液を投入する環境浄化活動（秋の部）を実施しました。

夏期のプール使用前の清掃を軽減するとともに汚れの少ないプールの水を川に流す効果のあるEM活性液を、小学校児童や中



学校生徒は容器に入ったEM液の匂いに戸惑いながら緑色のプールに茶色の液を投入しました。1シーズン2回の投入を予定しており、次回（春の部）は4月に実施予定です。

国際平和ポスターコンテスト



国際平和ポスターコンテスト応募作品については、厳正な審査の結果以下の皆さんの作品が入賞に決まりました。

最優秀賞 誠道小6年 瀬戸彩花さん
優秀賞 境2中2年 三浦咲来さん
中浜小6年 安田なごみさん
会長特別賞 中浜小6年 足立貫太さん
佳作 境2中1年 土本千夏さん
誠道小6年 中野峻輔さん
誠道小6年 渡邊天翔さん

なお、作品は10月23日（金）から11月3日（火）まで、海とくらしの史料館で展示されました。

最優秀賞、優秀賞の3点はこのあと336-B地区で審査を受ける予定です。

L.長栄善二郎 法務大臣表彰



長栄善二郎さんが、長年にわたり業務に精励し法務行政の運営に寄与された功績により、平成27年6月2

5日法務大臣表彰を受賞されました。10月24日(土)米子ワシントンプラザホテルにおいて祝賀会が開催され、多方面から約80人の方が出席し受賞を祝いました。誠におめでとうございます。

大相撲倉吉場所観戦記

L. 菊地英夫



大相撲を一度見たいと言う妻の希望があり、10月23日(金)三朝温泉開湯850周年記念として開催された平成27年秋巡業大相撲倉吉場所(倉吉体育文化会館)を観戦しました。

倉吉市は大相撲巡業が45年ぶりの開催ということもあり、約4,100人のファン(主催者発表)が詰めかけ会場は熱気に溢れ、熱のこもった取り組みや稽古などを通じ、観客を楽しませるパフォーマンスが



随所にみられ、十分に楽しむことができました。特に鳥取城北高校出身の力士、照ノ富士、逸ノ城、貴ノ岩、石浦関の出番には会場から大きな声援と拍手が湧き、各力士もその声援に応え全員白星でした。妻が、今日を境に大相撲の大ファンになった様でした。まっ、韓国ドラマよりは良いかな?

会員のお店紹介

鉄板酒場ヒバリブコ

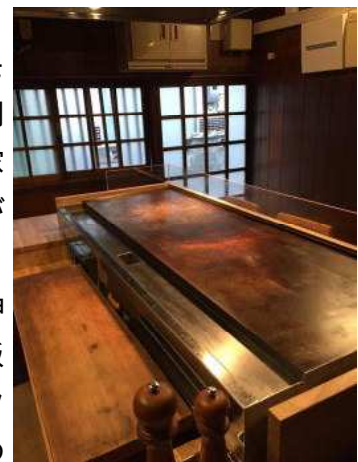
(L.足立和則)



みそら食堂は昼のみの営業とし、9月24日(木)、市内中町で営業していた元々の「お好み焼きみそら」と隣の「ひばり文庫」をくっつけて新たに居酒屋さんを開

店されました。その情報を聞きつけ早速9月25日(金)、妻と夕食がてらお店を訪問しました。部屋は3室(洋室×2、和室×1)、鉄板焼きの前のカウンター席とテーブル席があり、洋室は2室使用すれば20人程度の宴会が可能だそうです。

早い時間には、小学生や幼児を連れた家族が利用しており、家族的な雰囲気が漂っていました。別腹が好きな紳士達には、鉄板の前のカウンター席で、熱々のお好み焼きで飲み直しが似合うかも知れませんね。(kh)



Dr むすびの一番の健康メモ

第 5 回 「漢方薬は効くか？その 1」



『漢方薬は「病氣」ではなく「病人」を治す！』

中国 4000 年の歴史とは良く言われるが、歴史的に見れば西洋医学より、漢方医学の方が古いようである。ただ、日本の医学教育はドイツやアメリカなどの西洋医学を教えるため、Dr むすび氏は漢方医学を系統だって学んではいない。ちょうど良い機会なので、読者諸氏とともに学んでいこうと思う。

西洋医学は「病氣」を治すが、漢方医学は「病人」を治す・・・漢方医学と西洋医学の特徴の違いはこのようによく言われる。西洋医学では人間を病氣にする原因として、人体のどこかの部分の異常を考える。人体を精密な部品の集合体と考え、病氣とは、いずれかの部品の異常が原因であると考える。したがって、その原因をつきとめ、それを取り除けば病氣は治療できる、という考えかた。一方、漢方では病氣の元を一つの原因とはとらえず、身体が持っているバランスが崩れたことに原因があると考え。すなわち、漢方では病氣の原因は症状が現れた部分だけにあるのではなく、それ以外の部分にも関連があると考え。

このように西洋医学では病氣の原因をつきとめ、それを取り除くことを目的としているのに対し、漢方では人体を 1 つのネットワークと考え、全体のバランスを取り戻すことで病氣を治療することを目標としている。

『医者も認める漢方薬の効果』

漢方薬といえば効くまでに時間がかかる、値段が高い、面倒だ、本当に効くのか疑問だなど、漢方薬に否定的な考えを持つ

方もいる。しかし、漢方薬は現代医学でも、その効能が認められている。

『医師の約 70 % が漢方薬を用いている』

近代的な西洋医学を用いて病氣を治療する医師のうち約 70% が漢方薬を薬の処方箋に用いている。また、大学病院や総合病院でも漢方外来をもうける施設が増えてきた。中国 4000 年の歴史をもつ漢方薬は決して古臭い



ものではなく、長い歴史の経験から裏打ちされた理論的な医学である。西洋の薬学が数百年の歴史のなかで、主に動物実験をとおして進歩してきたものならば、漢方医学は数千年の歴史の中で、いわば人体実験と検証をとおして進歩してきたものといえるようである。

編集後記

今月は公私ともども多忙な時期でしたが、L・山本博敏によるマイナンバー制度に関する講話は時機を得たものであり、大変有意義であったと思います。ありがとうございました。今後も会員による講話、勉強会等の積極的な実施を歓迎します。

発行 境港ライオンズクラブ

編集 PR・会報委員会

責任者 菊地 英夫

事務局 〒 684-8686

境港市上道町 3002 境港商工会議所内

☎ 0859-44-5477 FAX 0859-44-2313